

放送大学滋賀学習センター

# 樹 滴

緑豊かな環境

真理のしたたり

第104号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://shiga.ouj.ac.jp/>

## 目 次

「生と死の心詞論」(学習センター所長 吉川 栄治) .....	1
「Google翻訳なんか怖くない」(龍谷大教授 小堀 聡) .....	2
滋賀学習センターの勉強会のご案内 .....	3
学習相談会・公開講座のご案内、表紙写真の紹介 .....	5
事務室からのお知らせ .....	6
平成29年度第1学期在籍者統計 .....	10



# 生と死の心詞論

学習センター所長 吉川 栄治

いまや記憶遺産と化し、サブカルチャーとしても俳句の後塵を拝する短歌というジャンルで、石川啄木とともにかろうじて読まれているのが国語教科書の定番、斎藤茂吉の「死にたまふ母」である。

◆死に近き母に添寝のしんしんと遠田のかはづ天に聞ゆる

◆のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳ねの母は死にたまふなり (歌集『赤光』による。以下同じ)

もっとも、教科書の常連になったのは戦後のことで、道德教育の復活と連動した現象(品田悦一『斎藤茂吉 異形の短歌』)という。生徒が親孝行にめざめるかはさておき、下線部に注目してほしい。天をゆるがすカエルの声が脳裏に再生される一方で、瀕死の母は鮮明な像をむすばない。二首目も字数はツバメについやされ、肝心の母は「死にたまふなり」で片づけられる。それでも心を打つのはなぜだろうか。

茂吉が属したアララギ派の中心理念を写生という。写生は現実の模写ではない。茂吉は「自然・自己一元の生を写す」「自然を歌ふのは性命を自然に投射するのである」というが、形のないココロを形あるモノに語らせるという意味ならば、それは象徴に近い。「夏草や兵どもが夢のあと」(松尾芭蕉)、「降る雪や明治は遠くなりけり」(中村草田男)を例にとれば、歴史の変転をみてきた夏草と音もなくふり積む雪は、意識を現在から過去へとさかのぼらせる装置である。この「物と心」「景と情」の意表を突く配合こそが日本詩歌の核心的手法であり、冒頭の二首はそのあざやかな成功例といえる。深い悲しみをたたえながら感情表現はないこと、規則的なカエルの声の波動と無心にみおろすツバメの赤いのどが鮮烈な臨場感を生み出していることに気づいただろうか。読者は説明抜きで作者がいる現場に立ち会わされるのである。

◆死に近き母が目に寄り<sup>を</sup>だまきの花咲きたりといひにけるかな

◆我が母よ死にたまひゆく我が母よ我<sup>を</sup>を<sup>を</sup>生<sup>を</sup>まし乳足らひし母よ

一見感情をストレートに表出した無技巧の万葉調に見える。しかし、耳元に口を寄せるのを「目に寄り」とはふつういわない。奇妙な表現だが、母の目と会話をしようとしているのである。また、授乳を意味する「乳足らふ」は枕詞「足乳根」を組みかえた造語である。擬似的な古語と敬語をちりばめた下線部は、「ワヲウマシノチタラヒシハハヨ」という極端な破調とあいまって、母性の恩寵と崇敬を強く印象づける。

さらに惻念な計算の跡を示すのは全編に露出する「死」の語である。古来和歌に使われないことばで、本来忌むべき表現であることは「死にたまふ母」を「死ぬる母」とすれば歴然だが、「死にたまひゆくわが母よといふごとき表現は、なかなか出来ないこと」(『作歌四十年』)と作者が自賛するように、露骨な表現に逆に荘厳性をおびさせる手腕は尋常ではない。この連作は感情に身をゆだねたようにみえて、じつは斬新な用語の実験場である。古語を解体し自在にことばをあやつる作歌術は、茂吉を歌壇の寵児にした。

ところで、冒頭の歌が同世代の歌人三井甲之の「道おほふ細竹の葉そよぎ風起り遠田の蛙天に聞こゆも」の本歌取りといえは驚くだろうか。本歌取りというより現代なら盗用といわれそうだが、調子が弱く上句と下句で映像が分裂し焦点がぼやけている本歌は、茂吉の歌の足許にもおよばない。我々は「母に添寝」に度肝を抜かれ、「しんしんと」にしびれ、大自然のなかに消えゆく生命への哀傷に心をゆさぶられる。

詩は「心」と「詞」、実感と表現の緊張した接線の上になりたっている。「心と詞とを兼ねたらむをよき歌と申すべし」「心の欠けたらむよりは詞のつたなきにこそ侍らめ」(藤原定家『毎月抄』)というように、「心詞相具」の歌が最善、表現は未熟でも「有心」の歌が次善、技巧だけの実感をともなわない歌は「歌屑」とされてきた。深い「心」と精緻な「詞」をもつ「死にたまふ母」は近代短歌の金字塔となったが、おなじ歌人が後年「心の欠けたらむ」歌屑を濫造した。そのあたりのことは次号にゆずりたい。

# Google 翻訳なんか怖くない

学習センター客員教員 小堀 聡

翻訳ということについて、最近考えていることを少し紹介します。特に、Google翻訳に代表される機械翻訳に何ができて何ができないかを考察しているのですが、それは結局のところ、「人間が何かを翻訳するとはどういうことだろう」という問題になります。

さて、Google翻訳について考える前に、「翻訳」ということで2冊の本を紹介しておきます。どちらの本も「翻訳とは何か」を考えるうえで、とても面白い本です。

「翻訳できない世界のことば」 エラ・フランシス・サンダース著、前田まゆみ訳（創元社）

「翻訳というおしごと」 実川元子著（(株)アルク）

まず、「翻訳できない世界のことば」という本は、文字通り、他の国の言葉ではそのニュアンスを表現できない、つまり翻訳できない言葉について、美しいイラストとともに紹介しているものです。もちろん、それぞれの言葉についての説明は日本語に翻訳されています。たとえば、FORELSKETというノルウェー語は「語れないほど幸福な恋におちている」という意味なんだそうです。

日本語としては、「木漏れ日」、「ぼけっと」、「わびさび」、「積ん読」が紹介されています。さて、こういう言葉をGoogle翻訳はどう訳すのでしょうか？ 訳せなさそうな感じですね。

次に、「翻訳というおしごと」という本についてです。この本は基本的には、そのタイトルのとおり、翻訳という仕事に興味のある人、あるいは、翻訳家になりたい人が読むための本なのですが、仕事と家庭（家事、子育て…）の両立、PCやインターネットなどICT技術の発展の話なども出てきて、それらが結構、面白いのです。キャリア教育の教科書としても使えるかもしれません。実川さんだけでなく、他の10人の翻訳家のコメントも載っていて、実践的なノウハウや考え方を知るうえでも大変貴重な本になっていると思いました。

この本の冒頭で実川さんが述べていることで面白いと思ったことは、「機械翻訳が発達するほどに、人間でなくてはできない翻訳とは何かにより明確になってくるはず」という部分です。続けて実川さんは、「人間でなくてはできない翻訳とは、異文化、異言語の人たちが、いったい何を伝えたいのかを把握し、それを自分の中で消化して、それを別の言語で表現する、ということではないだろうか」と述べていますが、本当にそうですね。

現在のGoogle翻訳が飛躍的に進化したと言っても、コンピュータには著者が何を伝えたいかを理解することもできないし、それをどのように表現すれば分かりやすいだろうかなんて考えるわけもないのですから、まだまだ人間にしかできない翻訳はたくさんあるに違いありません。Google翻訳なんて怖くないです。



## 滋賀学習センターの勉強会のご案内

「勉強会」は、客員教員によって開催される学びの場です。滋賀学習センターに所属する学生ならどなたでも参加して頂けます。ぜひ、ご参加ください。

※勉強会の日程は、急遽変更になることがあります。変更の際は、滋賀学習センターのホームページ及び学習センターの掲示板でお知らせしますので、ご確認ください。

### ◆古典入門

吉川 栄治 先生



古典文学になじんでもらうため、内容がおもしろく文章が平易な作品を読みながら、文学史や文法も解説します。本年度は『徒然草』を取り上げます。

月	日	曜日	時間
7月	11日	火	10:30~12:00
8月	8日	火	10:30~12:00
8月	22日	火	13:30~15:00
9月	12日・26日	火	10:30~12:00

### ◆水の未来と持続可能な社会

天野 耕二 先生



「水の未来——グローバルリスクと日本(岩波新書)」という本を読みながら、持続可能な社会を考えていきます。

月	日	曜日	時間
7月	5日	水	14:00~15:30
8・9月は開催しません。			

### ◆ちょっと英会話その3

石田 法雄 先生



引き続き簡単な英会話をします。日本語を時にまじえ、必要に応じて英文法の解説をします。英語で自己・日本を表現したりして、英語を通して新しくみえてくる世界にチャレンジしましょう。会話のトピックは前もってお知らせします。

月	日	曜日	時間
7月	7日	金	13:30~15:00
8月	4日・18日	金	13:30~15:00
9月	1日・15日	金	13:30~15:00

◆健康と運動



人類にとって運動とはいかなる価値を持つのか、また現代社会において運動不足の与える影響とはについてみなさんと一緒に身体を動かしながら、考えていきたいと思ひます。

井上 辰樹 先生

月	日	曜日	時間
7月	14日	金	13:30~15:00
8月	25日	金	13:30~15:00
9月	8日	金	13:30~15:00

◆現代日本経済論



現代日本の経済状況についてわかりやすい解説書を手掛かりにみんなで考えてみましょう。さしあたり、前期に続いて、財政・金融問題を取り上げます。

梅澤 直樹 先生

月	日	曜日	時間
7月	14日	金	10:30~12:00
8月	4日・18日	金	10:30~12:00
9月	1日・15日	金	10:30~12:00

◆社会心理学の枠組みから学ぶ『孤立』と『排斥』



浦光博(著)「排斥と受容の行動科学」を輪読し、人と人との支え合いの関係の中で起きてくる問題や、その心理メカニズムについて学びます。

蔵永 瞳 先生

月	日	曜日	時間
7月	5日・12日	水	11:00~12:30
8月	23日・30日	水	11:00~12:30
9月	13日・20日	水	11:00~12:30

◆岩波新書で「脳科学」を読む



前年度に引き続き、理化学研究所編『脳科学の教科書・こころ編』(岩波ジュニア新書)を読みます。少しずつ読み進め、分かりにくいところは講義で補いたいと思ひます。

小堀 聡 先生

月	日	曜日	時間
7月	13日	木	10:00~11:30
8・9月は開催しません。			

## 学習相談会のご案内

修学上のいろいろな問題について、所長および客員教員が学習相談に応じます。

勉強会終了後に学習相談会を設けていますので、相談をご希望の方はこの機会をご活用ください。

- ① 事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ② 原則、勉強会終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時などを調整後、ご連絡いたします。

所長への学習相談の際は、**毎週火曜日 14:00～15:00**を学習相談会として設けていますので、お気軽に窓口までお申し出ください。

## 無料公開講座〈続・近江探究〉のご案内

滋賀学習センターは、集える学習センターづくり(地域貢献と広報活動)の一環として、次の要領で公開講座を開催します。興味のある方は参加してみたいはいかがでしょうか。

■講座名：「近江の原風景 —さまざまな町の風景—」 秋山 元秀 滋賀大学名誉教授

■日 時：8月6日(日) 14:00～15:50

■会 場：龍谷大学瀬田キャンパス 4号館1階 108講義室

■連絡先：放送大学滋賀学習センター〈TEL:077-545-0369、メールアドレス：[shiga-sc@ouj.ac.jp](mailto:shiga-sc@ouj.ac.jp)〉

■参加者：先着100名、一般・学生に係わらず誰でも参加可能(予約が必要)です。

■申込み方法：電話またはメールで直接滋賀学習センターに申込みをしてください。

■講座の概要：

近江の歴史のなかでさまざまな町が生まれました。安土や彦根のような城下町、大津・今津・塩津・海津のような港町、街道に沿った宿場町、さらに堅田のような寺内町もあります。町は地域の生活の中心であり、文化の担い手でもありました。本講座では近江のいくつかの町を取り上げ、その成り立ちや形態、近江の町固有の世界を探ります。

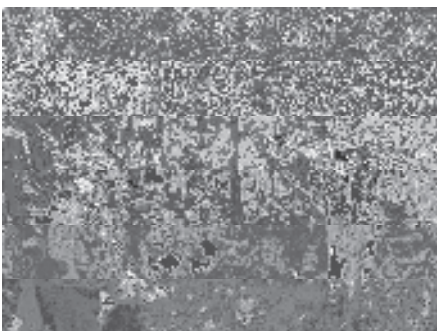
## 表紙写真の紹介



上の写真は5月21日におこなわれた面接授業「顕微鏡で見る人体」(滋賀医科大学・相見先生)の一コマです。滋賀医科大学にて、実験材料のメダカの腸管を取り出して組織を染色し、顕微鏡で腸管神経を観察しました。ちなみに、この面接授業には北は北海道から、また南は四国から参加された方もおられました。

下の写真は5月28日におこなわれた面接授業「里山から考える持続可能な生活」(龍谷大学・宮浦先生)の一コマです。この日は午後から滋賀学習センターに隣接する里山(龍谷の森)に出向いて、ほんの数十年前まで私たちの生活を支えてきた里山の歴史や現在に抱える問題について考察する機会となりました。

このように、面接授業(スクーリング)は、放送授業とは別に受講する、独立した科目です。モニターやスピーカーを通して一人で学習する授業とは異なり、教室などの場で直接、先生から指導を受けます。学友と共に学んだり、交流を深めたりできる貴重な機会です。面接授業は全国の学習センターとサテライトスペースで、年間約3,000クラスが開講されています。ご自分で受けてみたい授業がありましたら、ぜひ受講されてはいかがでしょう。



# 事務室 からの お知らせ

単位認定試験、図書・再視聴室の利用、卒業研究の履修申請、次学期に向けての手続き、学生証の有効期限、各種変更手続き、インターネット配信、などについてご案内します。

## 単位認定試験について

通信指導の合格により受験資格が得られます。未提出または不合格の場合は受験できません。通信指導の結果が択一式は7月7日(金)、記述式は7月19日(水)までに届かない場合は、大学本部(Tel:043-276-5111)へ連絡してください。



単位認定試験については、「受験票」、受験票に同封の「単位認定試験に際しての注意事項」および「学生生活の葉」(学部:67頁～74頁、大学院:62頁～68頁)を熟読してください。

### ■期間

【大学院】7月21日(金)、7月22日(土)

【教養学部】7月23日(日)～7月30日(日) ※7月24日(月)、28日(金)を除く

### ■必要なもの

#### ★単位認定試験通知(受験票)

試験日の約1週間前までにご自宅に送付されますが、7月13日(木)になっても届かない場合や紛失した場合は、大学本部(Tel:043-276-5111)へ連絡ください。

#### ★学生証

学生証は、学習センターで発行します。発行するためには、事前に写真票を大学本部に提出していただき、システムWAKABAに登録されていることが必要です。写真票は、試験日までに余裕をもって大学本部に提出してください。(発行には数日かかります)

#### ★HBの黒鉛筆 シャープペンシルは不可です。

#### ★持込み許可物品

受験票に同封されている「単位認定試験受験に際しての注意事項」に記載されていますので、必読ください。学習センターでは、持込み許可物品の貸与はできません。

### ■時間割等

★試験開始の10分前までに、受験票に指定された試験室に入室してください。

★1時限は50分です。

★1時限に1科目の受験です。

★遅刻は試験開始後20分まで認められますが、時間の延長はありません。

★試験開始30分経過後は退室することができます。

(一部のリスニング科目を除く)

### ■駐車場

自家用車で来られる方は、事前に「入構許可証」の発行を事務室で済ませてください。入構許可申請書は「利用の手引き」の最終ページにありますから、記入の上、切り離して提出してください。

学習センター前の駐車場は台数に限りがあり、すぐに満車になります。その際はバス停横の大駐車場をご利用ください。(特に7/29(土)は、龍谷大学で教員免許更新講習が実施されるため、お車で来校されても駐車できない場合があります。当日はできる限り公共の交通機関をご利用下さい。)

### ■試験結果

試験結果は、8月下旬に「成績通知書」によって通知されます。なお、システム WAKABA でも成績を確認することができます。

単位認定試験実施時間割	
第1時限	9:15～10:05
第2時限	10:25～11:15
第3時限	11:35～12:25
第4時限	13:15～14:05
第5時限	14:25～15:15
第6時限	15:35～16:25
第7時限	16:45～17:35
第8時限	17:55～18:45

## 図書・再視聴室の利用について

■ **利用時間**      通常期間 9:15～17:45      〈試験期間 9:00～18:45〉

### ■ 貸出期間及び貸出本数

貸出期間: 1週間以内      貸出本数: 学生の種類毎に1回につき3巻以内

(学習センター閉所日や開所時間外は玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。

※開所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。)



### ■ 貸出停止期間

図 書: 7月 7日(金)～ 7月30日(日)      放送教材: 7月14日(金)～ 7月30日(日)

※ 貸出中の図書・放送教材は7月13日(木)までに返却してください。

### ■ 閉室日

\* 毎週月曜日・祝祭日

\* 7月28日(金)・8月12日(土)(臨時閉所日)

### ■ ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。

なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用するには投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります)

また、カウンターにメッシュケースを置いてありますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

## 2018年度履修者用 卒業研究の履修申請について

### ■ 申請時期について

[新規履修希望者]

申請期間: 2017年8月16日(水)～24日(木)【**本部必着**】

提 出 先: 大学本部学生課卒業判定係



### ■ 履修申請条件

履修申請の条件は、2年以上在学し、62単位以上を修得していることです。

※ 在学期間は、全科履修生として在学(休学期間及び停学期間を除く)した期間が2年(2年次編入学者にあたっては1年)以上必要です。(3年次編入学者は、2年在学したものとみなします。)

※ 履修単位は、申請時(2017年度第1学期)の修得単位数の合計(入学時又は編入時に認定された既修得単位数を含む)が62単位以上必要です。

ただし、上記の履修申請条件を満たしていても、履修開始の前年度に行われる「卒業研究申請書」の審査により履修が認められない場合は、卒業研究の科目登録及び履修はできません。

「卒業研究履修の手引」及び「別冊」(申請書等)の配布を学習センターで行っています。履修申請要件及び申請方法等について必ずご確認の上、申請してください。詳細は、卒業研究履修の手引」及び「別冊」(申請書等)をご覧ください。



## 次学期にむけての手続きについて

### <9月で学籍が切れる方>

学習を継続される方、再試験を受ける方は継続入学をしてください。

- 申請期間: 第 1 回(郵送)8月31日(木)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(木)24時まで  
第 2 回(郵送)9月20日(水)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(水)24時まで

■ 提出物: 継続入学用出願票

※ 選科生、科目生から全科生へ入学する場合は、「学生募集要項」で出願してください。

※ 新規に科目登録をせず、再試験のみを希望される場合は、「今回は再試験のためだけの出願である」に○を付けてください。

### <次学期も学籍が続く方> 「学生生活の葉」学部:56 頁~59 頁、大学院 51 頁~57 頁参照

期間内に次学期の科目登録をしてください。

- 申請期間: (郵送)8月15日(火)~8月30日(水) ※私書箱必着  
(システム WAKABA)8月15日(火)9:00~8月31日(木)24時まで

■ 提出物: 科目登録申請票

### <今学期で卒業見込みの方> 「学生生活の葉」学部:90 頁~94 頁参照

学習を継続される方は、以下の通り入学手続きをしてください。

#### ⇒学籍が続く方

##### ①卒業となった場合の手続き

- 申請期間: 第 1 回(郵送)8月31日(木)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(木)24時まで  
第 2 回(郵送)9月20日(水)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(水)24時まで

■ 提出物: 継続入学用出願票

##### ②卒業とならない場合に備えての手続き

- 申請期間: (郵送)8月15日(火)~8月30日(水) ※本部必着  
(システム WAKABA)8月15日(火)9:00~8月31日(木)24時まで

■ 提出物: 科目登録申請票



#### ⇒学籍が切れる方

##### ①卒業となった場合の手続き

- 申請期間: 第 1 回(郵送)8月31日(木)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(木)24時まで  
第 2 回(郵送)9月20日(水)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(水)24時まで

■ 提出物: 継続入学用出願票

##### ②卒業とならない場合に備えての手続き

- 申請期間: 第 1 回(郵送)8月31日(木)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(木)24時まで  
第 2 回(郵送)9月20日(水)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(水)24時まで

■ 提出物: 学生募集要項出願票

## 学生証の有効期限について

学生証の有効期限が切れた方は、期限切れの学生証を持参し、学習センターで学生証の交換手続きを行ってください。(全科生=2年間 選科生=1年間 科目生=半年間)

## 各種変更手続きについて

### ■ 住所等の変更

入学後、「現住所」、「連絡先の電話」に変更があったときは、すみやかに「住所等変更届」を提出(システム WAKABA での届出も可)するとともに、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも転居届を提出してください。

「学生生活の葉」学部:84頁、院:74頁参照

### ■ 氏名の変更

入学後、「氏名」に変更があったときは、すみやかに「氏名変更届」を提出(システム WAKABA での届出も可)してください。なお、あわせて学生証再発行の手続きも行ってください。

※ 手続きを行わなかった場合は、単位認定試験の受験が認められないことがあります。

「学生生活の葉」学部:84頁、院:74頁参照

### ■ 学生証の再発行

紛失、盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合及び氏名の変更があった場合には、すみやかに学生証の再発行を受けてください。その際には、「学生証再発行願」に所要事項を記入の上、所属学習センターで発行手続きを行ってください。発行には手数料500円が必要です。

「学生生活の葉」学部:20頁、院:26頁参照

上記の提出先

◇教養学部◇

住所等変更届:滋賀学習センター

氏名変更届:大学本部学生課入学・履修係

◇修士全科生・博士全科生◇

大学本部教務課大学院企画・入試係

◇修士選科生・科目生◇

大学本部学生課入学・履修係

※諸様式は、「学生生活の葉」の巻末にあります。

## インターネット配信について

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからない Wi-Fi 環境等での視聴を推奨します。

ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ)もご利用いただけます。詳しくは、<http://radiko.jp> をご覧ください。

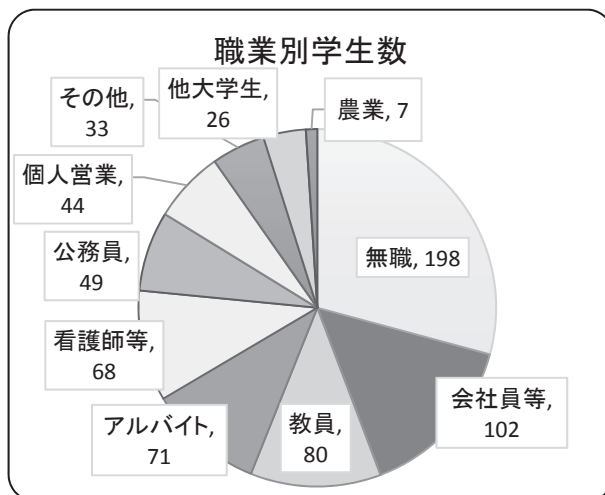
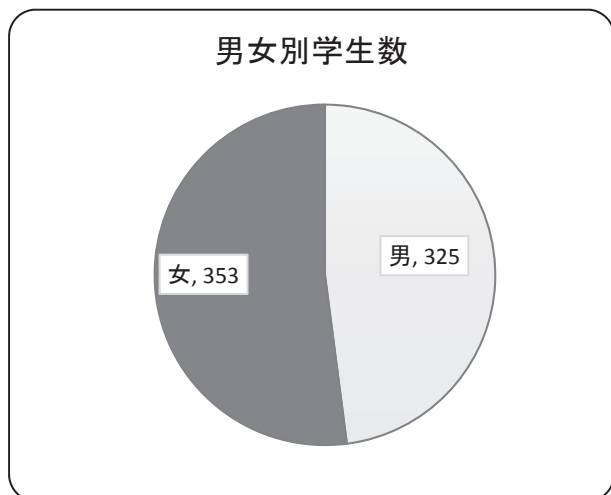
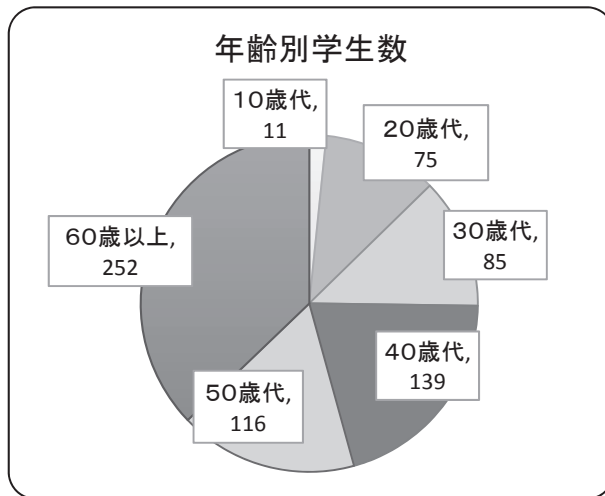
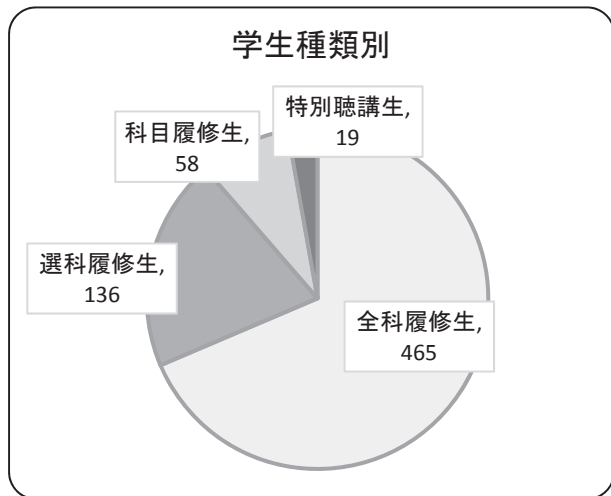
## 郵送による放送教材の貸出について

郵送による放送教材の貸し出しを行っています。現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送による貸し出しができます。往復の送料は、貸し出し希望者の負担になります。

利用方法・手順は「利用の手引き」12頁～13頁に記載していますので、ご覧ください。

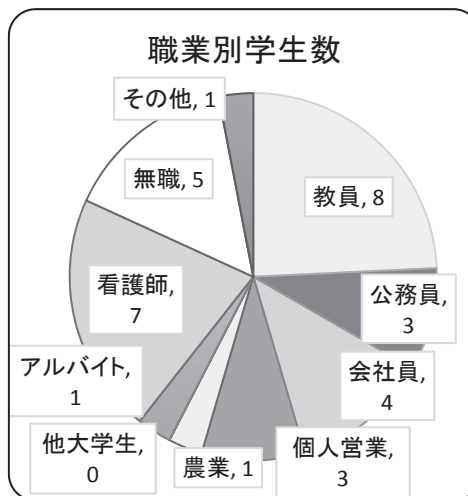
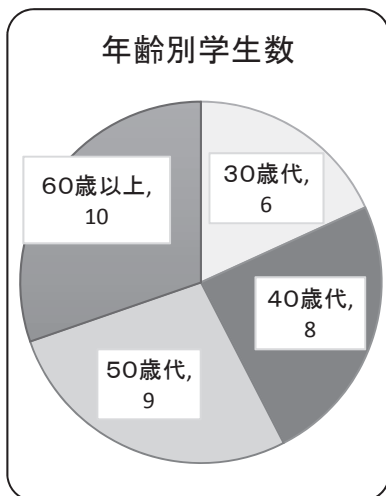
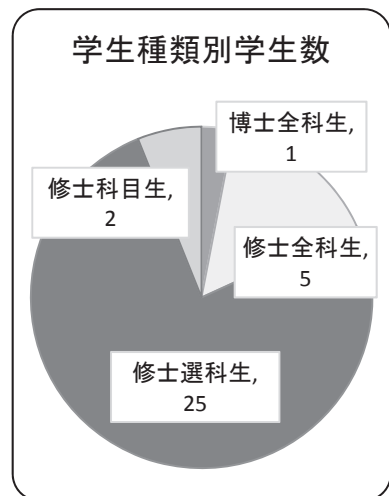
## 平成 29 年度第 1 学期在籍者統計

◇教養学部： 678 名（男性 325 名、女性 353 名、最年少 18 歳、最高齢 90 歳）



※職業別グラフで「無職」には定年退職者や専業主婦(夫)も含まれます。

◇大学院： 33 名（男性 15 名、女性 18 名、最年少 30 歳、最高齢 76 歳）



※皆さまのお近くにおられる友人や知人に放送大学を是非おすすめください。



# スケジュール



7 月				8 月				9 月			
日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容
1	土	○	創立記念日 面接授業	1	火	○	面接授業 図書・放送教材貸出可(～9/8)	1	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30
2	日	○	面接授業	2	水	○	面接授業	2	土	○	
3	月		閉所日	3	木	○		3	日	○	
4	火	○		4	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	4	月		閉所日
5	水	○	【勉】蔵永11:00 【勉】天野14:00	5	土	○		5	火	○	
6	木	○		6	日	○	公開講座(滋賀SC、14:00)	6	水	○	
7	金	△	【勉】石田13:30 図書のみ貸出停止(～7/13)	7	月		閉所日	7	木	○	
8	土	△		8	火	○	【勉】吉川10:30	8	金	○	【勉】井上13:30
9	日	△		9	水	○		9	土	△	図書のみ貸出停止(～9/15)
10	月		閉所日	10	木	○		10	日	△	
11	火	△	【勉】吉川10:30	11	金		山の日(閉所日)	11	月		閉所日
12	水	△	【勉】蔵永11:00	12	土		臨時閉所日 (電気設備の定期点検日)	12	火	△	【勉】吉川10:30
13	木	△	【勉】小堀10:00 図書・放送教材返却最終日	13	日	○		13	水	△	【勉】蔵永11:00
14	金	×	【勉】梅澤10:30 【勉】井上13:30 図書・放送教材貸出停止(～7/30)	14	月		閉所日 (司書教諭・看護)通信指導提出期限	14	木	△	
15	土	×		15	火	○	科目登録申請(面接授業を含む)受付開始	15	金	△	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30 図書・放送教材返却最終日
16	日	×		16	水	○		16	土	×	図書・放送教材貸出停止(～10/7)
17	月		閉所日(海の日)	17	木	○		17	日	×	
18	火	×		18	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	18	月		閉所日(敬老の日)
19	水	×		19	土	○	教員免許更新講習修了認定試験	19	火	×	
20	木	×		20	日	○	教員免許更新講習修了認定試験	20	水	×	【勉】蔵永11:00
21	金	×	第1学期大学院単位認定試験 第1学期放送授業終了	21	月		閉所日	21	木	×	
22	土	×	第1学期大学院単位認定試験	22	火	○	【勉】吉川13:30	22	金	×	
23	日	×	第1学期教養学部単位認定試験	23	水	○	【勉】蔵永11:00	23	土		秋分の日(閉所日)
24	月		閉所日	24	木	○		24	日	×	卒業証書授与式、入学者の集い 再視聴室閉室(～9/30)
25	火	×	第1学期教養学部単位認定試験	25	金	○	【勉】井上13:30	25	月		閉所日
26	水	×	第1学期教養学部単位認定試験	26	土	○		26	火	×	【勉】吉川10:30
27	木	×	第1学期教養学部単位認定試験	27	日	○		27	水	×	
28	金		臨時閉所日	28	月		閉所日	28	木	×	
29	土	×	第1学期教養学部単位認定試験	29	火	○		29	金	×	集中科目履修生(看護)単位認定試験
30	日	×	第1学期教養学部単位認定試験	30	水	○	【勉】蔵永11:00 科目登録申請(面接授業を含む)受付期限(郵送)	30	土	×	集中科目履修生(看護)単位認定試験
31	月		閉所日 体育実技単位認定申請締切	31	木	○	科目登録申請(面接授業を含む) Web受付締切	○: 図書・放送教材貸出可 △: 図書のみ貸出禁止 ×: 図書・放送教材貸出停止 【勉】勉強会			